

職場紹介 ～流域下水道事務所～

流域下水道事務所 工務課 高木有季

1. はじめに

当事務所は、大野城市白木原に位置する、筑紫総合庁舎の2階にあります。JR 大野城駅から徒歩10分、西鉄白木原駅から徒歩5分、高速大宰府インターから車で5分…と、非常に便利な立地です。人数は25名ほどで、風通しがよくアットホームな職場環境だと感じています。それでは職場紹介の前に、福岡県の流域下水道について簡単に紹介します。

2. 流域下水道とは

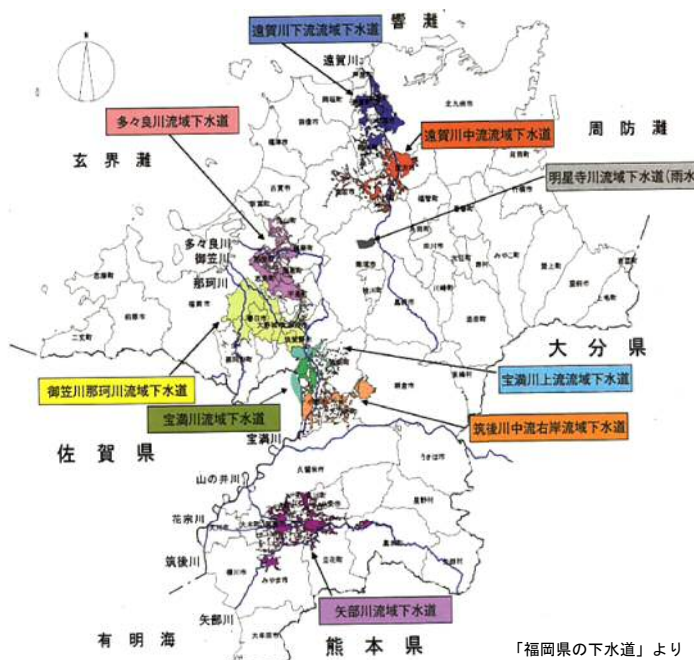
まず、流域下水道とは何かと思われる方のために…。下水道にも様々な種類がありますが、公共下水道、流域下水道、都市下水路、合併処理浄化槽等があります。各家庭や商業施設等から出る汚水はまず、公共下水道（市町村管理）に流れます。そして浄化センターを所有する市町村の汚水は各市町村で処理されますが、浄化センターを所有しない市町村の汚水は県が処理します。この県が処理する汚水が流れる下水道が流域下水道です。

3. 職務内容

福岡県の流域下水道事業は、昭和46年度から始まり、今日まで福岡県の衛生環境を支えてきました。福岡県には9つの流域下水道（図参照）があり、それぞれに浄化センターがあります。その中で私は、宝満川流域及び宝満川上流流域を担当しています。

では、具体的にどんなことをやっているのか…。当事務所は、庶務課、工務課（土木建築）及び設備課（機械電気）の3つの課で構成されていま

す。工務課では、流域下水道管渠の維持管理や浄化センターの運営に係る増築工事等を行っています。設備課では、浄化センターにある、汚水を浄化するための様々な機械の新設や更新工事等を行っています。その中で私は、新しい下水道管の埋設工事や、既存施設の耐震化工事等を発注し、工事監督をしています。耐震化の計画・設計は非常に専門的であり、工事発注した現場は多種多様…。悩むことも多いですが、必要不可欠な重要施設であることを考えると、とてもやりがいのある仕事です。今後も県事業のために尽力したいと思います。（下水道について詳しく知りたい方は「福岡県の下水道」をご覧ください。）



「福岡県の下水道」より